

(様式2)

授業科目 神経系機能・構造

科目コード番号

【担当教員名】 今村 徹	対象学年	2	対象学科	言語
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【概要】

本科目は後期に開講する臨床神経学の先行科目である。臨床神経学（神経内科学と同義）は神経系の機能や構造を障害する疾患を扱う分野であり、神経系の正常機能・構造の理解に基いた論理的な思考が必要である。授業では、1年次で学んだ神経科学（神経生理学、神経解剖学など）の知識・論理と疾患の理解が密接に結びついた領域を題材として、1日3時間の授業の中で生理学・解剖学の復習から、診察・検査法の演習、そして代表的な疾患の理解にいたるまでを一連の流れとして学ぶ。授業中の演習課題とともに、予習項目と復習課題を授業ごとに指示する。

神経疾患を逐次的に記憶することよりも、臨床神経学の考え方を理解することが目的である。本科目履修後に神経科学と臨床神経学をさらに学んでいけば以下のような利点があることを感じてもらいたい：1. 障害の原因を理解できるようになる。2. 患者の臨床症候と鑑別診断の根拠を理解できるようになる。3. 医療チームの有能なメンバーとなり他の専門職と良好な関係を形成できるようになる。4. 医学用語を理解して科学文献を読むことで自分の知識と技術を向上させられるようになる。5. 以上を通じて患者により良い医療サービスを提供できるようになる。

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	簡要神経学	岩田誠, 岩田淳訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2000年. 3800円 ISBN: 4-89592-249-9
	神経科学ーコミュニケーション障害の理解のために	館村卓訳	医歯薬出版	1999年. 6600円 ISBN: 4-263-21928-7
参考書	ベッドサイドの神経の診かた (授業中グループに1冊貸与)	田崎義明, 斎藤佳雄	南山堂	1994年. 7200円 ISBN: 4-525-24715-0
その他 (プリント等)	適宜配布する			

【評価方法】

授業中の課題と予習課題、復習課題の成績で評価する

【履修上の留意点】

言語聴覚学科の履修者を等分し、社会福祉学科の「神経内科学」選択履修者を加えた計32人からなる2クラスを作る。すべての授業は言語聴覚学科の履修者3人と社会福祉学科の履修者1人からなる4人のグループを単位として行う。第1週は2クラス合同で、第2週以降はクラス別に隔週で授業を行う予定である。グループ分けと日程表は改めて配布する。

【本科目の一般教育目標: GIO (General Instructional Objective)】

神経科学と臨床神経学の考え方を理解するとともに、神経科学と臨床神経学を学ぶ利点を感じる。

【行動目標: SBO (Specific Behavioral Objectives)】

(行動目標は授業ごとに具体的に提示する。)

授業計画

教室

回数	授業内容	SBO番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	オリエンテーション		今村	講義	
2, 3	下位運動ニューロンと末梢神経の生理学, 解剖学 神経伝導速度検査 神経筋疾患		今村	講義と演習	学生を被検者として神経伝導速度検査を実施する
4, 5	上位運動ニューロンと体性感覚系の生理学, 解剖学 神経学的診察 脊髄疾患		今村	講義と演習	神経学的診察の供覧後、学生同士で診察を演習する 上記参考書を貸与する。
6, 7	頭蓋内中枢神経系の解剖学 頭部形態画像検査 脳血管障害		今村	講義と演習	頭部CT, MRIの正常像, 異常像の読影を演習する

その他